

かけはし

令和7年度

発行 第11号

令和8年3月24日

厚木市

市民協働推進課



3月10日(火)に市役所第2庁舎で開催された第3回地域学校協働活動推進員連絡会は、大磯町から地域コーディネーターの大友さやか氏をお招きして事例発表をしていただいた後、「事例発表を聞いて考えたこと」等をテーマにグループ協議を行いました。

事例発表

「大磯町国府地区における地域学校協働活動」

大磯町国府地区 地域コーディネーター 大友 さやか 氏

事例発表は、地域コーディネーターとして初めの動き、地域学校協働活動事例紹介、その他運営面での活動紹介と話しが進みました。事例が参考になったことはもちろんですが、話の中で地域学校推進員の多くが経験する「地域と学校の思いの差を調整する」という課題を、講師が明るく前向きに捉えてエネルギーに推進している様子がありました。厚木市の多くの地域学校協働活動推進員の皆さんの参考に、そして励みになったのではないかと思います。

グループ協議

テーマ「事例発表を聞いて考えたこと」「今後の取組に活かしたいこと」

各グループでは、主に次のような内容が話し合われました。

- ・ 中学校で活動を行うにはどう動くのが良いのか。また、生徒の考えや希望を聞くことについて。
- ・ 定期的に地域・学校・推進員で話し合う機会を作ることや会議の出席者について。
- ・ 登下校の見守り活動の課題やその対策について。
- ・ 自治会が機能している地区では、報告・連絡・相談がしやすい環境が整っているとのことですが、その現状について。
- ・ 若い世代の協力を促すにはどうするか。また、活動を行うにあたって声をかける方法について

2月14日(土)には「地域ぐるみ協育フォーラム」が厚木市保健福祉センターで開催され、学校、公民館、社会教育団体それぞれの関係者が約100人が出席し、地域学校協働活動推進員からも大勢の方が出席しました。内容は前半が講演、後半がグループワークでした。

講演

「学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進で生まれるもの」

社会教育士 市川 重彦 氏

講演は、「学校運営協議会の導入と役割」「地域学校協働活動の紹介」「まとめとして活動の成果と課題」についての話がありました。その中で、学校運営協議会における熟議の仕方については、特にアイデアの創出に焦点をあてて教えていただきました。

グループワーク

グループワークは、前半の講演でお話しいただいた地域学校協働活動のアイデア創出のセッションを、カードを使って行いました。このワークを通して、出席した皆さんが地域に戻ってアイデアを出すイメージが深まったようです。これまで考えてもみなかった発見があったというグループもいくつかありました。

地域学校協働活動は、「学びの場」をより立体的で豊かなものにするだけでなく、地域社会そのものを次世代に向けて持続可能な形で育てていくという、大きな役割を担う可能性を秘めています。一方、担い手不足や地域間の格差、活動の持続性、学校と地域住民の間の役割分担等、様々な課題もあります。これらを解決するためには行政の支援、地域住民の主体的な参画、学校教員への負担軽減、コーディネーターなどの支援人材の育成が不可欠です。そして、成功事例を広く共有し、地域特性に応じた柔軟な取り組みを進めることが重要になります。



推進員からの活動報告・意気込みなど伺いました

(今回は厚木北地区、依知南地区、睦合北地区、小鮎地区、愛甲地区を掲載させていただきます。)

厚木北地区

・10/30、児童がお神輿を担ぐ体験授業を行いました。厚神会会長を担当教諭へ紹介し、更に地域のつながりを生かし近隣自治会所有の子神輿をお借りしました。「セイヤーツ!」「セヤーツ!」と、児童の威勢の良い掛け声が体育館中に鳴り響き、児童らは同授業を通して歴史と文化を学び、狙い通りの地域学校協働活動となりました。【小学校】



・1月に「手作り凧揚げ体験教室」が開催され、思いのままに凧に絵を書き、校庭を走り回る子どもたちの笑顔が見ることができました。また、3月には厚木北公民館まつりで厚木中学校吹奏楽部の演奏、美術部、家庭部及び写真部が作品展で参加しました。今後も小・中学校の連携及び地域の皆さんとの交流を大切にしていきたいと思います。【中学校】

睦合北地区

・推進員が配置される前から、登下校の見守り、田畑の授業、九九ルーム、公民館まつり等でこどもと地域の方の関わりがあります。今後も公民館を核にこどもたちが地域を知り、愛着を持ってくれるような活動ができれば…と思います。【小学校】

・例年、市の防災訓練および市全体の美化清掃への参加や自治会のお神輿の手伝いを実施して、こどもと地域住民の交流を図っています。令和7年度は、新たに公民館まつりへの試験的な参加を実施しました。こどもがボランティア・スタッフとしていくつかのブースで販売に携わりましたが、地域住民の方々にも好評で、次年度も参加したいと話していました。現在は写真部と美術部も参加しておりますが、中学生のブースを設営して多人数の参加を募り、更に地域住民との交流を図りたいと思います。【中学校】

愛甲地区

・公民館と学校が隣接し協働が盛んな当地区初の推進員です。まずは初めての活動として、愛甲小の昔あそび募集を公民館だよりに掲載しました。繋ぐ役割として地域と共に子ども達の笑顔と学びを支えてまいります。【小学校】

依知南地区

・月に一度、3校の推進員が依知南公民館に集まって依知南地区推進員連絡会(通称:お茶会)を開催し、各推進員と公民館との情報交換を行っています。依知南地区は地域学校協働活動が始まって5年目を迎え、新たな活動を模索しています。その手始めとして、地域学校協働活動を広く地域の方に知っていただくことを目的に、『地域学校協働活動とは?』というチラシの発行を予定しています。現在、各推進員がアイデアを持ち寄って掲載内容の検討をしています。【小、中学校】

・今年度より5年生の七沢学習が日帰りとなり、代案となる体験学習を学校・運協・民生・育成会の方々と一緒に企画検討調整を行いました。来年度以降にも続く活動となるため、地域との連携の一歩となりました。

【小学校】

小鮎地区

・3年生総合の授業で学区探検のお手伝いをしました。提案した場所で児童が目を輝かせて学ぶ姿はとてうれしかったです。地域の壁画塗り直し作業では学校が全面的に協力してくださり児童、保護者が多数集まってくれました。地域のかぶと虫を育てる活動も3年目を迎えました。色々な活動を更に広げていきたいです。

【小学校】

・昨年に引き続き「アートギャラリー」「卒業生に学ぶ」に加えて中学2年生を対象とした「職業講話」を開催しました。小鮎地区に在住、在勤、または卒業生を講師にお招きしました。ここでは、仕事の重要性、厳しさ、やりがいに加え、普段仕事で使用している道具を使わせていただくなど、より生徒が学び易いように工夫しました。来年度は学校運営協議会にも相談しながら進めていこうと思います。【中学校】

・手探りでの一年目の活動でしたが、先生方の理解、協力のおかげで、市民健康まつりや公民館まつりに生徒たちが参加、大活躍してくれました。今後も同様の活動と共に、小学校と連携した行事を実現させたいと考えています。

【中学校】